

和歌山縣報

第四百七十五號

大正六年七月十三日
金曜日

○告示

○和歌山縣告示第三二四號

左記漁業權ハ拋棄ニヨリ消滅ス

大正六年七月十三日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

免許年月日

免許番號

漁業種類
及名稱

拋棄年月日

漁業權者

明治四十四年
八月三十日

九六七

定置漁業
魴類漁業
鮎類掛

大正六年
五月二十九日

東牟婁郡四村
谷口光之助

○和歌山縣告示第三二五號

左記漁業權ハ拋棄ニヨリ消滅ス

大正六年七月十三日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

免許年月日

免許番號

漁業種類
及名稱

拋棄年月日

漁業權者

大正二年
九月八日

一、二五九

定置漁業
魷類漁業
鮎類掛

大正五年
十一月八日

日高郡川上村大字熊野川
代表者 芋野榮之丈

全年全月五日

一、二五三

全

大正六年
六月一日

有田郡田殿村大字角
全 武田源助

○和歌山縣告示第二二六號

左記漁業權ハ拋棄ニヨリ消滅ス

大正六年七月十三日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

免許年月日

免許番號

漁業種類
及名稱

棄拋年月日

漁業權者

大正三年
十月十六日

一、三二八

定置漁業
魷類漁業
鮎類掛

大正六年
五月七日

東牟婁郡北山村大字大沼
代表者 村中鉄太郎

大正二年
九月一日

一、二五九

全

大正六年
五月二十日

日高郡川上村大字熊野川
全 芋野榮之丈

○和歌山縣告示第二二七號

左記自轉車鑑札紛失ニ付自今無効トス

大正六年七月十三日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

鑑札番號

紛失年月日

住所

氏名

西第一、三五七號

大正六年六月四日

西牟婁郡上秋津村

山本助春

全 五五八號

全 六月一日

全 郡田邊町

山敷宗一

全 八七九號

全 五月廿八日

全 郡岩田村

福田順次郎

○通牒

○勸第五八一三號ノ一

通牒

大正六年七月十三日

内務部長

郡市長殿

濱州ノデレイト、アルム、メルボルン及新西蘭ウエリントン駐在帝國名譽領事宛商業其ノ他ノ用務ニ關シ和文通信ヲ爲スモノ有之候處右ニテハ名譽領事ノ不便不貽ニ付是非英文通信スル様在シドニ清水橋頭事ヨリ由該候處其筋ヨリ通牒有之候條右關係當業者ニ周知方御取計相成度シ

○勸第五八三六號ノ一

通牒

大正六年七月十三日

内務部長

郡市長殿

各中學校長殿

丁業學校長殿

商業學校長殿

町村長殿

農商務省海外實業練習生採用ニ關シ別紙ノ通牒有之候條及移候候也

(別紙)

○商局第七九三號

大正六年七月三日

農商務省商工局長

地方長官殿

當省海外實業練習生ハ訓冊添附ノ練習生一覽記載ノ如ク明治二十九年年度以降既ニ六百餘名ノ多數ヲ派遣致來候處本年度ニ於テモ來ル九月上旬本省ニ於テ之方採用試験舉行可致ニ付テハ其ノ旨可然方法ヲ以テ周知方御取計相度本制度ハ主トシテ實際貿易ニ從事シ又ハ技術ノ修練ヲ爲サントスル者ヲ養成スルノ目的ニ有之殊ニ戰亂勃發以來ニ於ケル對外貿易ノ擴張ト將來ニ對ヘル商情確保ノ爲メニ海外事情ニ精通スル適材ノ養成ハ益々切要ナルニ鑑ミ本省ハ此等必然ノ要求ニ應スヘキ施設トシテ本制度ノ目的ナ一層有効ナラシムヘキ方針ニ有之候條右御倉ノ上此趣旨ニ適合スヘキ志願者多數ヲ得候様御配慮相成度此段及御依頼候也

海外實業練習生採用規程

一 海外實業練習生ハ左ノ要件ヲ具備シ志望確實ナル者ヨリ之ヲ採用ス

一 中學卒業若クハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルコト

二 練習セント欲スル實業上ニ一箇年以上ノ經歷ヲ有スルコト

但シ技術練習ノ場合ハ此限ニ在ラス

三 練習目的地ノ語學ニ通スルコト

四 練習事業ノ遂行ニ必要ナル相當ノ資本若クハ資本家ノ援助ヲ有スルコト

但シ本項中三號四號ニ付テハ其練習地又ハ練習科目ニ依リ之ヲ必要トセサルコトアルヘシ

一 外國ニ於ケル工場若クハ商店ニ入り練習スル場合ニ於テハ其工場若クハ商店ノ練習承諾書又ハ内外有力者ノ練習地工場若クハ商店ニ對スル確實ナル推薦狀ヲ提出セシムルモノトス

一 練習生採用ハ毎年一月二月四月七月及十月ノ五期トス但シ當分ノ間採用期ハ毎年一回八月又ハ九月トス

一 練習生ノ任期ハ三箇年トス但シ必要ニ應シ相當ノ期限ヲ延長スルコトアルヘシ

一 練習生ニ支給スヘキ補助費月額ハ左ノ標準ニ據ル但シ練習成績特ニ良好ナルカ又ハ格別ノ必要アリト認メタルトキハ補助費月額ノ三割迄ヲ増加スルコトヲ得

一 支 那 參拾圓以内

一 印度及南洋地方 四拾五圓以内

一 歐羅巴各國及南亞弗利加 六拾圓以内

一 中南部米國及澳洲地方 七拾圓以内

一 練習補助費ノ支給ハ本邦出發ノ日より起算シ向フ三箇年トシ繼續支給ハ毎年度ノ初メニ於テ之ヲ決定ス

但シ補助期限滿了前ニ於テ辭任又ハ練習ヲ了シ歸朝シタルモノハ練習地出發ノ日より離免又ハ外國ニ在リテハ辭任ノ場合ニ於テハ辭令發布ノ日より支給ヲ廢止ス

一 練習補助費ハ六箇月以内ノ支給額ヲ前金渡ト爲スコトヲ得一旅費補助ハ往路ニ限リ外國旅費規則第二號表二等船舶料及

汽船料ノ三分ノ二以内ノ標準ニ據リ支給スルコトヲ得

但シ本文ニ依リ難キトキハ汽船汽船ノ二等定額ノ三分ノ

二以内ノ實費ヲ支給スルモノトス

練習生志願書様式

海外實業練習費補助願

私儀

今般何々業練習ノ爲メ何國何地へ渡航致度候ニ付右練習費

及旅費御補助被下度御想則命令堅ク遵守可仕身元引受人連

署ヲ以テ此段奉願候也

大正 年 月 日

族籍及現住所

願 人 何

某 印

(片假名ヲ以テ傍
訓ヲ附ス)

族籍及現住所

身元引受人 何

某 印

族籍及現住所

推薦人 何

某 印

農商務大臣宛

添付事項

一 履歷書 學業履歷實業履歷

一 醫師證明書 身體ノ健康ヲ證明スルコト

身元引受人ハ丁年以上ノ男子ニシテ一家ヲ立ツル者ニ限ル

郡區市町村長ノ證明ヲ要ス

備考

練習生志願書ハ隨時提出スルコトヲ得

練習生志願者ノ參考

本年試験期日及場所

九月中旬「又ハ上旬」農商務省內ニ於テ執行

試験科目

練習目的地ノ語學「和文外譯外文和譯會話」

作文「漢字交リ文」

實刀試問「練習セントスル科目ニ對シ學識經驗ノ程度ヲ試

問ス」

願書提出期限

八月末日迄ニ商工局長宛提出スヘシ

願書提出者ニハ試験日時ヲ通知ス 萬一不著ナシトモス故

ニ九月上旬ニナルモ通知ニ接セサルトキハ商事課ニ照合

スヘシ

願書ニ就テノ注意

身元引受人丁年以上ノ男子ニシテ一家計ヲ立ツル者ナルコ

トノ市區町村長ノ證明書「又ハ奥書ヲ」添付スルヲ要ス

推薦人ハ資格ニ制限ナシ推薦ナキ場合ハ之ヲ省クコトヲ

得ヘシ推薦人ノ資格地位等ニ依リテ採否ニ關係アルカ如

ク思惟スルモノアルモ全然採否ニ關係ナシ

願書記載事項中

一 目的地ハ練習場名ヲ記スルヲ要ス單ニ米國又ハ英國等ト

記載スヘカラス「假令米國紐西英國倫敦支那上海」等トス

ルコト

二練習科目ハ可成總括的ノ名稱トスヘシ「假令雜貨貿易業
絹織物加工品商業電氣計器製作業化學工業用機械製作業
等トスルコト

一採用規程ニ對シ疑義ノ解

採用資格ハ規程第一項ノ(一)及(二)ヲ具備スル者ナルヲ要シ
右ハ(一)ノ學歷ヲ終リタル後(二)ノ實業經歷ヲ有スルコトナ
要スル儀ニシア(一)ノ學歷ヲ履ム以前ニ實業經歷アルモ資
格ナキモノト看做ス

(一)ノ中學卒業若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルコト、ア
ルハ中學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者ナル
ノ意ニシア獨學又ハ私人ニ就キテ部分的ニ修學シタルカ
如キハ資格ト看做リス

○ 彙 報

○ 衛 生

○ 衛第四九一八號

香港傳染病狀況

本件ニ關シ本月二十日發在香港領事官補加來美知雄ヨリ左ノ如ク電報アリ

(大正六年六月二十五日內務省衛生局)

前週中當地ニ於ケル傳染病患者者左ノ通

「エンテリツクフイーバー」支那人四死七一天然痘支邦人死亡一

比律賓群島虎列刺狀況

本件ニ關シ「マニラ」駐在領事杉村恒造ヨリ本月十六日發左ノ如ク電報アリ

六月十六日午前八時ニ終ル一週間虎列刺情況

マニラ市内疑似一眞症ナシ地方七洲新患者總數百三十四死亡總數九十六「ボホール」州「セブ」州「ソ
ルソン」州各々三四十ノ患者ヲ出セリ

○衛第四九八〇號

上海ニ於ケル五月中ノ傳染病狀況

本件ニ關シ在上海當省防疫事務囑託入倉榮暉ヨリ本月二十一日附左ノ加ク報告アリ

(大正六年六月三十日內務省衛生局)

五月中ニ於ケル傳染病患者ハ別表ノ如クニシテ極メテ多ク同居留地内ノ同死者ハ支那人百八十
七名外國人七名日本人六名合計二百名ニシテ前月ヨリ二十七名多シ而シテ當月中ノ死亡者總數ノ一
九、三〇強ヲ占ム

一、猩紅熱ノ流行ハ當月ノ上旬ヲ以テ其ノ極度トナシ漸次衰退ニ向ヒツ、アルモ尙平時ニ數倍スル
新患者ノ發生アリ外國人及日本人同患者死者ハ著シク減少セシモ支那人ノ死亡者ハ居留地内ニ
於テ百五十五名ノ多數ニ達シ前月ヨリ八名多シ

一、痘瘡ハ前月ノ初メ以來漸次増加シツ、アリシカ當月ニ於テハ益々増加シ支那人死者二十二名外
國人新患者九名日本人新患者五名發生シ猩紅熱ノ如キ猛烈ナル流行ヲ來スコト無カルベシト雖
モ尙當分増加スルノ傾向アリ

一、チブス及赤痢其ノ他消化器傳染病ハ前月ニ大差ナク未ダ流行ト稱スベキ發生ナシ「ベスト」狀況
亦頗ル良好ニシテ有菌鼠ノ發生ヲ聞カズ

一、本月中ニ於ケル傳染病患者死者數表左ノ如シ(附結核其ノ他ノ死亡者數)

コレ	チフス	バフス	赤痢	ペス	痘瘡	猩紅熱	チフス	合	計	結	核	脚	氣	其	他	死
新患者	九	四	四	一	一四	一七	一	四九	二〇〇	一〇七	五	七	二二	一、〇三	四	者
死者	四	一	四	一	二五	一六	七	二〇〇	一〇七	五	七	二二	一、〇三	四	者	總者
現在者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	者
一月以	四七	一五	二一	一	二四	九八	一〇	二一五	五九五	五〇九	二二	三、五三	四、六三	九	者	者
來累計	死者	九	一	二一	四七	四八七	三〇	五九五	五〇九	二二	三、五三	四、六三	九	者	者	者
一、	本月中ニ於タル	ベスト	其ノ他ニ關スル	表左ノ如シ												
患	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者
有	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者
檢	査	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠
捕	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠	鼠
使用セシ捕鼠器數	一、三三五	七五〇	二、九八五	一、四〇〇	七五、六〇〇	一、一三	四三、二〇〇	二〇〇	一四四、九〇〇	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四
配布セシ毒餌數	二五、九〇〇	七五、六〇〇	一、一三	四三、二〇〇	二〇〇	一四四、九〇〇	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四	一四四
仮防鼠工事及消毒家屋數	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
耐久防鼠工事ヲ完成セル家	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
豫防接種ヲ受ケタル者	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

第五〇九七號

上海傳染病自六月十一日至六月十七日週報

本件ニ關シ在上海當省防疫事務囑託人倉榮暉ヨリ去月十九日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ

大正六年七月三日內務省衛生局

備考

區別	虎列刺	新患者	死者	現在者	一月以來患者	累計死者
實布	一	一	一	一	一	一
發診	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一
虎列刺	一	一	一	一	一	一
新患者	一	一	一	一	一	一
死者	一	一	一	一	一	一
現在者	一	一	一	一	一	一
一月以來患者	一	一	一	一	一	一
累計死者	一	一	一	一	一	一

一、本期間中ニ於ケル傳染病狀況ハ前週ト大差無ク猩紅熱ノ流行ハ引續キ漸次減退ス痘瘡ノ發生尙多ク支那人死者九名外國人新患者二名ヲ出ス然レトモ支那人間ノ種痘現時益々勵行セラレツ、アレバ恐ラク猛烈ナル大流行ヲ來スコト無カルベシ

一、本期間中ニ於ケル各國同居留地内ノ死亡者ハ外國人十名支那人百八十六名合計百九十六ニシテ前週ヨリ十七名多シ而シテ日本人ノ死亡者ハ八名ナリ

比律賓群島ニ於ケル虎列刺狀況

本件ニ關シ「マニラ」駐在領事杉村恒造ヨリ本月二十三日發左ノ如ク電報アリ

六月二十三日午前八時ニ終ル一週間虎列刺狀況

「マニラ」市内疑似一、外ニ新患者一、前週報告漏レトシテ公表セリ地方新患者百四十二死亡一「ボホル」州二十九「アルハイ」州二十七其ノ他二十八

香港ニ於ケル傳染病狀況

本件ニ關シ在香港加來領事官補ヨリノ去月二十八日發電報左ノ如シ
前週中當地ニ於ケル傳染病患者左ノ通

「ベスト」支那人「エンテリク、フイーバー」三、日本人一、残り支邦人有南風一、

○衛第四九〇三號

大正六年六月二十六日(自六月二十五日正午至六月二十六日正午間報告到着分)

傳染病日報

内務省衛生局

新患者及有南風見報告ナシ

ベ ス ト

發 疹 ナ リ ス

府 縣 新患者發生郡市名

青 森 弘 前 市

北 津 輕 郡

計

山 形

東 田 川 村

秋 田 市

宮 城

塩 釜 町

合 計

新患者數

四 三 七 二 二 四 一 九

痘 瘡

府 縣 新患者發生郡市名

京 都 市

大 阪 市

西 成 郡

東 成 郡

計

長 崎 港

鳥 取 市

愛 媛 郡

福 岡 市

高 知 市

合 計

新患者數

二 一 三 五 六 二 四 一 一 一 二 一 三

○衛第四九一七號

大正六年六月二十七日(自六月二十六日正午至六月二十七日正午間報告到着分)

傳染病日報

内務省衛生局

新患者及有菌鼠発見報告ナシ

ハ ス ト
發 疹 チ フ ス

府縣
山形
青森
新患者發生郡市名
東田川郡
弘前市
東津輕郡

新患者數

一 二 一 三 四

痘 瘡

新患者發生郡市名

府縣
大阪
大 阪 市
東 成 郡

新患者數

五

兵庫
神 戸 市
姫 路 市
武 庫 郡

計

前 橋 市

大 牟 田 市

合 計

詳馬
福 岡

一 六

○衛第四九七七號

大正六年六月二十八日(自六月二十七日正午至六月二十八日正午間報告到着分)

傳 染 病 日 報

内務省衛生局

ハ ス ト

發 疹 チ フ ス

府縣
愛知
新患者發生有菌鼠
風發見郡市名
碧海郡

有菌鼠

一

新患者數

七

府縣
宮城
秋 田
新患者發生郡市名
宮 城 郡
南 秋 田 郡

合 計

九

痘 瘡

府縣

新患者發見郡市名

新患者數

山口 大崎郡

徳島 美馬郡

一

大阪

大阪市

一

愛媛

温泉郡

二

計

三

八

○衛第四九七六號

大正六年六月二十九日(自六月二十八日正午至六月二十九日正午間報告到着分)

傳染病 日報

ハ ス ト

府縣

新患者發見有南風發見郡市名

新患者及有南風

府縣

新患者發見郡市名

新患者數

神奈川

横濱市

有南風 一

宮城

宮城郡

四

愛知

豐橋市

新患者 一

秋田

南秋田郡

一

合計

新患者有南風 一一

合計

五

痘 瘡

府縣

新患者發見郡市名

新患者數

滋賀

坂田郡

一

兵庫

神戸市

二

香川

仲多度郡

一

武庫郡

一

廣嶋

廣嶋市

一

神磨郡

一

合計

七

計

四

○衛第四九七八號

大正六年六月三十日(自六月二十九日正午至六月三十日正午間報告到着分)

傳 病 日 報

府縣 新患者發生有菌鼠發見郡市名
 三重 四日市市
 愛知 碧海郡
 合計 五 一 四
 有菌鼠數

發疹チフス
 新患者發生報告ナシ

○衛第五〇五〇號

大正六年七月二日(自六月三十日正午至七月二日正午間報告到着分)

傳 染 病 日 報

府縣 新患者發生有菌鼠發見郡市名
 三重 四日市市
 愛知 碧海郡
 合計 三 二 一
 有菌鼠

發疹チフス
 新患者發生報告ナシ

内務省衛生局

痘 瘡
 府縣 新患者發見郡市名
 大阪 大坂市
 西成郡
 東成郡
 大牟田市
 門司市
 合計 一 四 五 一 四 九 六 二 一
 新患者數

内務省衛生局

痘 瘡
 府縣 新患者發見郡市名
 大阪 大坂市
 西成郡
 東成郡
 泉南郡
 南河内郡
 合計 一 一 一 一 四 一 四
 新患者數
 (自六月卅一日正午間報告分)
 (至七月一日正午間報告分)

奈良

吉野郡
奈良市

(自七月一日正午間報告分)
(至七月二日正午間報告分)

兵庫

神戸市

徳島

海部郡

飾磨郡

福岡

大牟田市

鳥取

鳥取市

合計

二 三 五 一 一 一 八

合計

一 一 二 一 三

〇衛第五〇九八號

大正六年七月三日(自七月二日正午至七月三日正午間報告到着分)

傳染病日報

内務省衛生局

ベ
スト

府縣

新患者發生有菌
風見有菌風

有菌風數

發疹チフス

新患者發生郡市名

新患者數

愛知

碧海郡

一

府縣

宮城郡

二

痘瘡

府縣

新患者發見郡市名

新患者數

兵庫

神戸市

一

愛媛

温泉郡

一

越智郡

一

計

高知

高知市

二

合計

四

○大正六年六月三十日調本縣ニ於テ生シタル各種傳染病患者數左ノ通り
各種傳染病患者者表(自大正六年六月二十日至大正六年六月三十日)

赤		病	
郡市名	發病 町村數	新患	本年初發以來累計 患者 死亡 全治 現在
和歌山	一	一	一
海草	一	一	一
那賀	一	一	一
伊都	一	一	一
有田	一	一	一
日高	一	一	一
西牟婁	一	一	一
東牟婁	一	一	一
計	六	六	六

病		新	
郡市名	發病 町村數	新患	本年初發以來累計 患者 死亡 全治 現在
和歌山	一	一	一
海草	一	一	一
那賀	一	一	一
伊都	一	一	一
有田	一	一	一
日高	一	一	一
西牟婁	一	一	一
東牟婁	一	一	一
計	六	六	六

痘

紅

熱

郡市名
町村數
新患

本年初發以來累計
患者 死亡 全治

現在

和歌山	海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁	計
1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	1	1	1	1	1	2	2
1	1	1	1	1	1	1	2	2
1	1	1	1	1	1	1	1	1

痘

瘡

郡市名
町村數
新患

本年初發以來累計
患者 死亡 全治

現在

和歌山	海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁	計
1	7	2	2	1	2	1	1	14
1	1	1	1	1	1	1	1	1
36	17	3	2	1	6	1	1	65
4	3	1	1	1	5	1	1	12
25	12	3	2	1	1	1	1	44
7	2	1	1	1	1	1	1	9

○ 正 誤

本年四月二日發行縣報第四四九號所載第九頁縣告示第一一二號六縣訓令第一三號ノ誤

大正六年七月十二日印刷
大正六年七月十三日發行
每月火曜日金曜日發行

和歌山縣知事官房

印

副人

和歌山市本町

二丁目

三番地

江川

文七

江川

印

江川

印

江川

印